

紀 要

(XXI)

大阪府障害者福祉事業団

(紀要、21年度)

はじめに

平成22年3月、春の風と共にお届けしたくて、大阪府障害者福祉事業団紀要第21号を発行いたします。

大阪府障害者福祉事業団の理念は「ともに生きる心を育み ともに歩む社会の実現」です。私たちは、あなたがあなたらしく生きることができるよう、いつもより添い、これからも一緒に歩んでいきます。そして、みんなと力を合わせて誰もが仲良く暮らしていける社会を作りますと宣言しています。事業団はこの理念に向かって新たな風を起こしています。

大阪府から受託運営する大阪府立金剛コロニーは、発足以来40年が経過しました。近年、金剛コロニーは再編計画にて、大規模施設を縮小しています。再編計画の一つは、入所者の地域生活への移行です。平成17年から今日までに、二百十数名の方が、府内各地域のグループホームやケアホーム等を希望され移られました。再編計画のいま一つは、利用者の状態に副ったより良い支援場面への変更です。平成19年に重症心身障害児施設を、平成20年に特別養護老人ホームをそれぞれ団立で開設しました。コロニー利用者の多くの方が両施設に移行されています。事業団は府立の授産施設を3寮閉鎖し、団立の施設を2つ開設すると共に、各地に地域生活移行や地域生活者を支援し見守るための地域生活支援センターを開設しています。

今回掲載する3つの報告は、この新しい事業展開の中で取り組まれたもので、職員の着眼力や行動力に利用者に対する真摯な姿勢が窺えると共に熱い思いが伝わってきます。

2つは、地域生活支援をより深く見つめ学ぼうとする支援者の報告です。1つは、重症心身障害児施設での開設後の統一した支援の実践を目指す取り組みの報告です。

職員各位はしっかり学んでください。また、多くの方にご批評をいただければと願います。

最後になりましたが、日々多忙な中、研究活動および執筆に取り組まれた皆様は心から深く感謝を申し上げます。

平成22年3月

大阪府障害者福祉事業団

総合施設長 禅野 勝美

目次

はじめに

■ 地域でくらす	01
《地域生活移行利用者調査報告》	
企画調整課地域支援係／山本 幸子、杉田 啓史、柳屋 美香	
■ 地域生活支援における現状と課題	25
～「地域自立支援協議会」を機軸とした地域ケアシステムについて～	
明光ワークス 地域支援センター あいあいみしま／主査 坪倉 浩治	
■ 摂食・嚥下に対するスタッフの意識調査	48
重症心身障害児（者）施設すくよか みなみ棟 摂食・嚥下研究チーム	
看 護 師／小坂 美幸・東野 裕子・下中 藍	
理学療法士／辻野綾子、作業療法士 善利成臣	

あとがき